

問5 Kさんは、人口の推移に関するレポートを書くためにメモを作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。

メモ

近代以前の日本では、記録が断片的であったり、調査が不正確であったりして、正確な人口はわかりません。研究による推計では、①飛鳥時代から平安時代にかけてはおおむね400万人から700万人程度で推移し、農業などの産業が発達してきた②鎌倉時代ごろから人口が急増し始め、戦国時代には1000万人を突破し、江戸時代中期には約3000万人ほどであったとされています。明治時代に入ると近代的な戸籍がつくれ、正確な人口がわかるようになりました。日本の人口は増加を続け、戦後の③高度経済成長期に1億人を突破し、④大都市への人口集中が進みました。近年、日本の人口は減少に転じましたが、⑤世界では急激な人口増加が続いています。

(ア) —— 線①に関して、次の「中のあい」にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

飛鳥時代、中大兄皇子(天智天皇)はあらとともに天皇中心の国づくりを進め、外交面ではいで唐・新羅の連合軍と戦い、内政面では日本で最初の戸籍をつくるなどした。

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|------------|
| 1. あ：蘇我馬子 | い：白村江の戦い | 2. あ：蘇我馬子 | い：鳥羽・伏見の戦い |
| 3. あ：中臣鎌足 | い：白村江の戦い | 4. あ：中臣鎌足 | い：鳥羽・伏見の戦い |

(イ) —— 線②に関して、次のa～eのうち、鎌倉時代のできごとを三つ選び、それらを年代の古い順に並べたものとして最も適するものを、あとの1～8の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- a. 関東で平将門が周辺の武士を率いて反乱をおこした。
- b. 元の軍勢が二度にわたり九州北部に攻めてきた。
- c. 幕府をたおす計画を立てていた後醍醐天皇が捕らえられ、隠岐に流された。
- d. 南朝と北朝に分かれて対立していた朝廷が一つになった。
- e. 裁判を公平に行う基準として、御成敗式目(貞永式目)が定められた。

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. a→b→c | 2. b→c→d | 3. c→a→d | 4. e→c→d |
| 5. a→d→c | 6. b→e→a | 7. c→b→a | 8. e→b→c |

(ウ) —— 線③に関して、高度経済成長期のできごととして誤っているものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1. 人々の収入が増え続け、白黒テレビや洗濯機、冷蔵庫などの家電製品が普及した。
- 2. 企業が土地や株式を買い集めたことから、地価や株価が上がり続け、バブル経済となった。
- 3. 水俣病、四日市ぜんそく、イタイイタイ病、新潟水俣病などの公害病が深刻化した。
- 4. とともにアジアで初となるオリンピック・パラリンピックと万国博覧会が日本で開かれた。

(エ) ———線④に関して、あとの各問いに答えなさい。

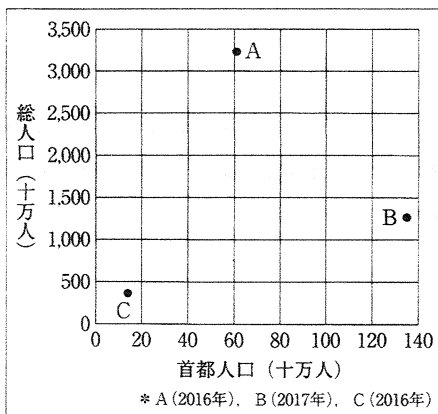
- (i) 次の[]中の[う]、[え]にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

高度経済成長期には、[う]とよばれる地帯に連なる大都市で人口集中が進み、[え]といった過密の問題が生じた。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. う：太平洋ベルト | え：住宅の不足やごみの急増 |
| 2. う：太平洋ベルト | え：鉄道やバスの路線廃止 |
| 3. う：フォッサマグナ | え：住宅の不足やごみの急増 |
| 4. う：フォッサマグナ | え：鉄道やバスの路線廃止 |

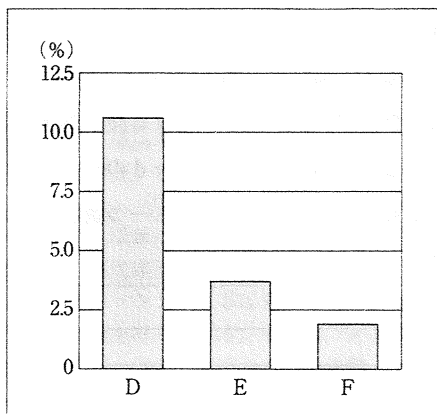
- (ii) 次のグラフⅠは、日本、アメリカ合衆国、カナダの総人口と首都人口(郊外を含む)を、グラフⅡは、日本、アメリカ合衆国、カナダの総人口に占める首都人口(郊外を含む)の割合を、それぞれ表したものである。このうち、日本を表す記号の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

グラフⅠ



(『世界国勢図会 2018/19年版』などをもとに作成)

グラフⅡ



(『世界国勢図会 2018/19年版』などをもとに作成)

1. AとD 2. AとE 3. BとD 4. BとF 5. CとE 6. CとF

- (オ) ———線⑤に関して、次の[]中の[お]、[か]にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

アジアやアフリカの[お]では、[か]を背景に、人口爆発とよばれる急激な人口増加が続いている。

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. お：先進国 | か：労働力不足を補うための移民の増加 |
| 2. お：先進国 | か：医療の普及による死亡率の低下 |
| 3. お：発展途上国 | か：労働力不足を補うための移民の増加 |
| 4. お：発展途上国 | か：医療の普及による死亡率の低下 |

問6 Kさんは、「グローバル化と訪日外国人」というテーマで発表を行うために、次のメモを作成した。

これについて、あとの各問いに答えなさい。

メモ

近年、海外での日本の自然や産物、①文化に対する関心の高まりを背景に、②日本を訪れる外国人が増えています。そのため、大都市ばかりでなく③地方においても、外国人を迎え入れる取り組みが盛んに行われています。

- (ア) ——線①に関して、日本の伝統文化の中には、ユネスコの無形文化遺産に登録されているものがある。次の□中のa～cについて、1月から12月にかけて、行われる順に並べたものを、あとの1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

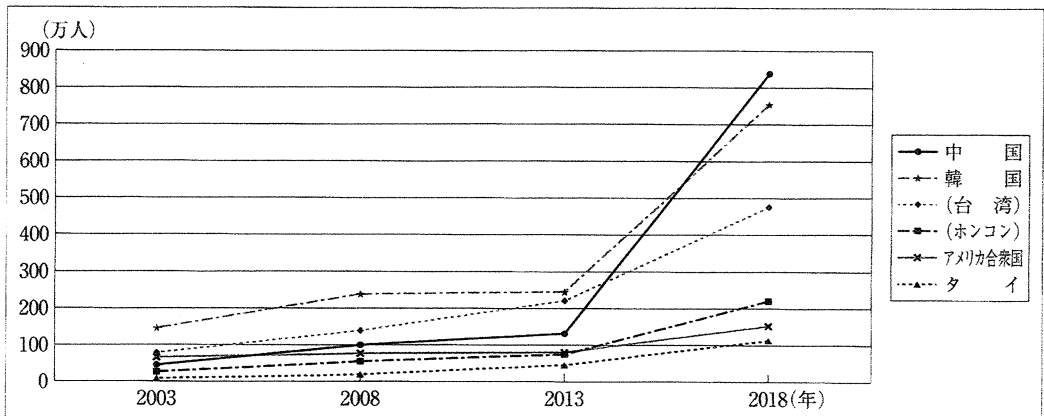
- a. 城端神明宮祭の曳山行事(富山県)：端午の節句のころ、装飾のほどこされた山車に御神像のせて町中を練り歩く。
b. 佐陀神能(島根県)：秋分の日のあるころ、地元の神社で舞や能を奉納する。
c. 能登のアマメハギ(石川県)：正月、仮面をつけたアマメハギが家々を訪れ、災厄を祓う。

1. a→b→c 2. a→c→b 3. b→a→c
4. b→c→a 5. c→a→b 6. c→b→a

- (イ) ——線②に関して、あとの各問いに答えなさい。

- (i) 次のグラフは、2018年における訪日外国人数上位6位までの出身国・地域の、訪日人数の推移を表したものである。あとのa～dのうち、このグラフから読み取れるものの組み合わせとして最も適するものを、1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

グラフ



(日本政府観光局(JNTO)資料をもとに作成)

- a いずれの年においても、韓国が最も多い。
b いずれの年においても、タイが最も少ない。
c いずれの国・地域も2003年から2008年までの5年間の増加数が最も少ない。
d いずれの国・地域も2013年から2018年までの5年間の増加数が最も多い。

1. aとc 2. aとd 3. bとc 4. bとd

- (ii) 訪日外国人旅行者に対するアンケート(2016年度調査)で、旅行中最も困ったことをたずねたアンケートの結果のうち上位5位までを表した次の表を見て、あとの[]中の「あ」にあてはまる語句を漢字2字で書き、[い]にあてはまる数字として最も適するものを、あとのA～Eから一つ選び、その記号を書きなさい。

表

施設等のスタッフとのコミュニケーションがとれない	*無料公衆無線LAN環境	多言語表示の少なさ・わかりにくさ(観光案内板・地図等)	公共交通の利用	クレジット／デビットカードの利用
28.9%	18.5%	13.3%	11.1%	4.3%

*無料公衆無線LAN環境：無線通信を利用して無料でインターネット接続ができるようにしたサービス
(国土交通省「旅行動態の変化の状況」をもとに作成)

上位3位までは「あ」の伝達や入手に関する悩みといえる。スマートフォンなどの携帯端末による「あ」の入手ができなくて困った人の割合は、[い]%となっている。

- A. 28.9 B. 18.5 C. 13.3 D. 11.1 E. 4.3

- (ウ) —— 線③に関して、次の資料Ⅰは訪日外国人旅行者の消費動向を分析した文書の一部、資料Ⅱは訪日外国人旅行者向けの地方の取り組みの例を表したものである。資料中の「う」～「お」にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

資料Ⅰ

近年、報道などでよく耳にするようになった「モノ消費」と「コト消費」。モノを所有することに価値を見出す、欲しいモノを買うことが目的の消費を「モノ消費」、商品やサービスを購入したことで得られる体験に価値を見出す、何かをするコトが目的の消費を「コト消費」とされているようだ。

(国土交通省『平成30年版 観光白書』より)

コト消費は訪日旅行の要素として定着している…「爆買い」現象に象徴されるように、訪日外国人の消費としては「う」消費が注目されがちだが、自然景観鑑賞、歴史建造物への訪問、アクティビティ体験等のコト消費は訪日外国人の消費として定着している。米国人、フランス人等は買物を訪日旅行の主要素とは考えておらず、日本の文化や歴史を理解できるような体験を好んでいる。中国人、タイ人、インドネシア人も、市場により内容は異なるが、自国にはない自然景観の鑑賞、旅館での宿泊体験、温泉入浴体験等を好んで体験している。

(日本政府観光局(JNTO)「訪日外国人旅行者の消費動向とニーズについて－調査結果のまとめと考察－」より)

資料Ⅱ

徳島県三好市の取り組み…観光案内所で、多言語の*ラフティングのパンフレットを用意することで、消費を後押ししている。また、宿泊施設では、近隣のうどん作り体験を紹介し、好評を博している。

*ラフティング：ゴムボートに乗り激流を下るアウトドアスポーツ。

兵庫県豊岡市の取り組み…豊岡の宿では着物の着用体験サービスを展開。体験を通し着心地の良さを知り、お土産として買って帰る。豊岡では着物が欧米人に売れ、品切れになる程である。

(日本政府観光局(JNTO)「訪日外国人旅行者の消費動向とニーズについて－調査結果のまとめと考察－」をもとに作成)

徳島県三好市の例は、[え]消費の拡大をねらった取り組み、兵庫県豊岡市の例は、[え]消費を刺激して「お」消費の拡大につなげようという取り組みといえます。

1. う：モノ え：モノ お：コト 2. う：コト え：コト お：モノ
3. う：モノ え：コト お：モノ 4. う：コト え：モノ お：コト